

市営桜木駐車場用地の土壌分析結果及び
施設誘致事業に係る状況について

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 市営桜木駐車場用地活用地土壌分析結果及び今後の対応について

(2) 宿泊施設及び催事用多目的施設の誘致事業に係る状況について

(3) 質疑応答

3 閉 会

【 資 料 】

1. 次 第

2. 市営桜木駐車場用地の土壌分析結果及び
施設誘致事業に係る状況について

市営桜木駐車場用地の土壌分析結果及び施設誘致事業に係る状況について

平成29年8月
東日本交流拠点整備課

1. 土壌分析調査の結果

<土壌分析調査の経緯>

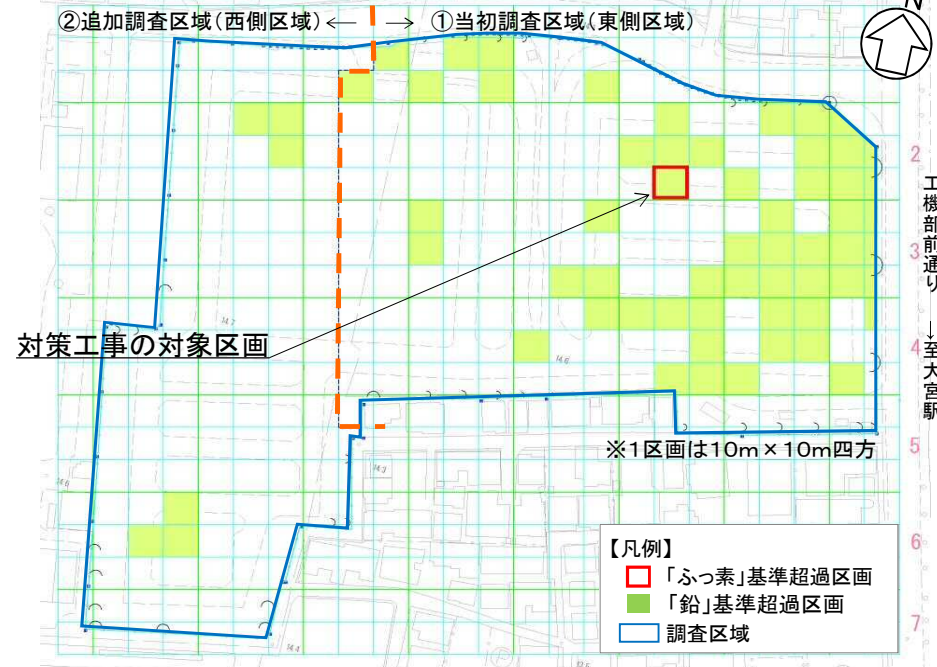
- 平成28年 5月 ①土壌分析調査開始(鉄道病院等で利用されていた東側区域を対象)
 平成28年 8月 ⇒ 分析結果判明:「鉛」及び「ふっ素」の基準値超過を確認
 平成28年 10月 ②追加調査開始(未調査だった西側区域、深度方向、地下水分析)
 平成28年 12月 ⇒ 西側の未調査区域の分析結果判明:鉛の基準値超過を確認
 ⇒ 地下水分析結果判明:「ふっ素」は検出されず
 平成29年 2月 ⇒ 深度方向調査結果判明:以下のとおり

<土壌分析調査結果>

【ふっ素】 区画数: 1区画 検出値: 160~2300mg/kg (基準値 150mg/kg以下) 深 さ: 1. 3m	【鉛】 区画数: 60区画 検出値: 0.9 mg/L (基準値 0.8mg/L以下) 深 さ: 1. 1m~3. 8m
------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

平成29年 4月 調査結果に基づき土壌汚染対策法に基づく区域指定
 ※調査結果は下図のとおり

<土壌汚染区域図>



2. 汚染土壌に係る今後の対応について

<今後の対応について>

○「ふっ素」については、水に溶ける性質を有する化合物が検出されていることから、地下水への影響が懸念される。

○左図の赤枠内の「ふっ素」が基準値を超過した区画(以下「対象区画」)について、周辺のみならずの安心安全を確保するため、速やかに対策工事を行います。
 ※「鉛」については、現在アスファルト舗装されており飛散のおそれはないため、施設の建設時に掘削除去できるよう、優先交渉権者が決まり次第協議を行ってまいります。

<対策工事の内容>

対象区画について、汚染土壌を掘削除去し、良質土に置き換えます。なお、対象区画では「鉛」も検出されているため、「鉛」の汚染土壌も併せて除去します、

- ・ 対象区画の面積…………… 100㎡(10m×10m)
- ・ 対象区画の汚染深度… 「ふっ素」:1. 3m、「鉛」:1. 7m
- ・ 掘削除去土壌量…………… 約170㎡

<対策のスケジュール(予定)>

- 工事の契約 H29年8月
- 現場施工(掘削除去工事) H29年10月～
- 工事完了 H29年12月

※工事の詳細については、契約の締結後施工に先立ち、別途お知らせいたします。

3. 宿泊施設及び催事用多目的施設の誘致事業に係る状況

<サウンディング型市場調査における企業の意見>

- 鉄道をはじめとする交通網や国の位置付け、都市としての規模等により、大宮という都市のポテンシャルは高く評価できる。
- 市の支援措置が相当程度あった場合でも、民設民営によるスキームは、催事用多目的施設の採算性や道路等の周辺環境、市のMICE戦略等の課題がある。
- 行政による支援、周辺道路等の周辺施設整備、MICE戦略や誘致体制等市の姿勢により、事業の成立性は高まる。

<現在の状況>

桜木駐車場へのMICE対応施設の誘致に向けては、説明会や自治会を通じていただいたご意見にも配慮しながら、民間企業から提案をいただけるよう、支援措置、周辺環境整備、MICE戦略の策定等の課題について、検討を行っています。